

人工コラーゲンの開発

① アピールポイント



助教
北澤 耕司

円錐角膜は10代前半に発症し、進行性に角膜実質が菲薄化し角膜が変形していくために視力が低下する両眼性の角膜疾患です。

② 研究の出口のイメージ

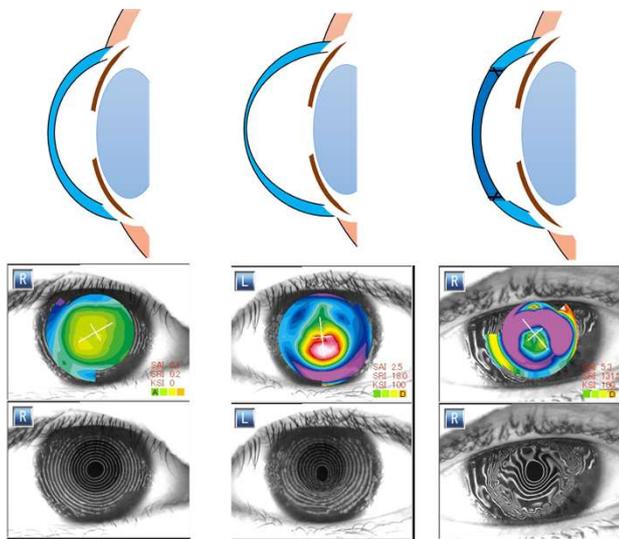
円錐角膜の唯一の治療法である角膜移植治療より、より安全で効果的な治療法の開発を行い、臨床応用を目指します。

キーワード

角膜、円錐角膜、人工コラーゲン

研究内容

正常眼 円錐角膜眼 角膜移植眼



円錐角膜による角膜変形に対し、唯一の治療法は角膜移植です。フェムトセカンドレーザーを併用した角膜移植を行なうことで、ドナー・グラフト接合部が強固になっても、手術後の角膜変形は残存し残余乱視が存在するため、視力回復の再現性は限定的です。

これまでの角膜移植を超える治療法を開発を目指すため、角膜実質コラーゲンの補充療法や人工角膜などの研究を行っています。

